

授業科目	表現と論理	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	小野田貴夫
						職種	
授業の目標・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の主な二つの様式(モード)、物語モード／論理科学的モードの違いとそれぞれのメリットを理解する ・論理的思考を身に付けて、実践的に使えるようになる 						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当		
		1	私はどのように表現しているのか(性格と表現について)	講義	小野田		
		2	経験を語るということと説明すること	講義	小野田		
		3	思いついたことを語り、まとめる方法(mindmapの描き方)	講義	小野田		
		4	性差と表現・認識モード	講義	小野田		
		5	物語の基本構造	講義	小野田		
		6	患者が語る経験とケース記録の違い	講義	小野田		
		7	論理的思考とは	講義	小野田		
		8	論理的コミュニケーションとは	講義	小野田		
		9	論理的ピラミッドを使う	講義	小野田		
		10	論理的問題解決	講義	小野田		
		11	論理的ツリーを使う	講義	小野田		
		12	実際の問題を解決する(日常的な問題に向き合うために)	講義	小野田		
		13	実際の問題を解決する(事例検討のために)	講義	小野田		
		14	実際の問題を解決する(カンファレンスの準備のために)	講義	小野田		
	15	試験					
評価方法	講義時の小レポートと最終試験						
履修上の注意	毎回の講義で、A4白紙のコピー用紙を4枚～5枚用意してください。						
テキスト	小野田貴夫著『文章作成一步前』(篠原印刷所出版部)						
参考図書	J.ブルーナー(2016)『意味の復権』ミネルヴァ書房 M.ホワイト(2009)『ナラティブ実践地図』金剛出版 P.ブルデュー(1993)『話すということ』藤原書店						

授業科目	情報科学	単位	1単位	時間数	30時間	担当者 職種	出口 憲
授業の目 標・ねらい	1. 科学としての情報の実態を知り、情報量とその収集について学ぶ。 2. 情報の収集と整理、活用方法についてパソコンを用いて学ぶ。						
授業内容 および方 法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当		
		1	統計とは	講義・演習	出口		
		2	エクセルの操作	講義・演習	出口		
		3	標準偏差値とその意味	講義・演習	出口		
		4	エクセルの標準偏差	講義・演習	出口		
		5	相関関係と因果関係	講義・演習	出口		
		6	エクセルで相関係数を求める	講義・演習	出口		
		7	確率と確率分布	講義・演習	出口		
		8	エクセルで練習問題を解く	講義・演習	出口		
		9	母平均の推定	講義・演習	出口		
		10	エクセルでの互換推定	講義・演習	出口		
		11	仮説検定	講義・演習	出口		
		12	エクセルで仮説検定	講義・演習	出口		
		13	エクセルで問題演習①	講義・演習	出口		
		14	エクセルで問題演習②	講義・演習	出口		
	15	試験			出口		
評価方法	パソコンを用いての試験						
履修上の 注意							
テキスト	やさしい保健統計学(南江堂)						
参考図書							

授業科目	教育学	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	鈴木三平
						職種	
授業の目標・ねらい	教育とケア(人間の成長・発達と健康)について理解する。						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当		
		1	ケアの概念	講義	鈴木		
		2	ケア理論的モデル	講義	鈴木		
		3	ケア論の中の人間形成	講義	鈴木		
		4	ケアと相互応答性	講義	鈴木		
		5	健康のケアの種類	講義	鈴木		
		6	社会的倫理としてのケア	講義	鈴木		
		7	健康と教育	講義	鈴木		
		8	健康教育の歴史と健康教育の概念	講義	鈴木		
		9	健康と教育の場	講義	鈴木		
		10	学校保健の活動	講義	鈴木		
		11	学校保健の広がり	講義	鈴木		
		12	学校でのケア	講義	鈴木		
		13	健康教育の現代像	講義	鈴木		
		14	エンパワーメントとアドボカシー	講義	鈴木		
	15	試験			鈴木		
評価方法	筆記試験						
履修上の注意	次回の講義範囲の事前学習						
テキスト	新体系看護学全書 『教育学』(メヂカルフレンド社)						
参考図書	授業時に適宜紹介						

授業科目	人間関係論	単位	2単位	時間数	45時間	担当者	橋本 剛 江口昌克	
						職種		
授業の目標・ねらい	1. 人間と社会との関係を理解する。 2. コミュニケーションの基礎知識について理解する。 3. 自己分析、自己理解を通して自分の対人関係のあり方を考える。 4. 対人関係と健康について学ぶ。 5. 対人関係と接遇について学ぶ。							
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当			
		1	対人認知	講義	橋本			
		2	ステレオタイプ	講義	橋本			
		3	行動的免疫システム	講義	橋本			
		4	ヒューリスティック	講義	橋本			
		5	原因帰属	講義	橋本			
		6	自己	講義	橋本			
		7	自尊心	講義	橋本			
		8	自己制御	講義	橋本			
		9	態度	講義	橋本			
		10	説得	講義	橋本			
		11	社会的促進	講義	橋本			
		12	同調と服従	講義	橋本			
		13	コミュニケーション	講義	橋本			
		14	ウェル・ビーイング	講義	橋本			
		15	試験			橋本		
		1	自己認識力を高める	自己理解	講義・演習	江口		
		2	自己認識力を高める	共感体験	講義・演習	江口		
		3	コミュニケーションの基礎	信頼体験	講義・演習	江口		
		4	コミュニケーションの基礎	アサーション他	講義・演習	江口		
		5	家族システム①		講義・演習	江口		
		6	家族システム②		講義・演習	江口		
		7	家族志向のケア		講義・演習	江口		
				試験		江口		
		単元ごとは順不同です。						
	評価方法	筆記試験						
	履修上の注意							
テキスト								
参考図書								

授業科目	健康とスポーツ	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	瀧本 厚子
						職種	
授業の目標・ねらい	1. スポーツの基本技術を習得して、自己の健康管理や維持増進に役立てる。 2. 身体を動かしながら、人間の運動機能について考察する。 3. スポーツを通して仲間と協力し合うなど、社会性を身につける。						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題		方法	担当	
		1	ガイダンス 授業説明 ストレッチのやり方		実技	瀧本	
		2	ソフトバレーボール 基本のパス		実技	瀧本	
		3	ソフトバレーボール 基本のプレー サーブ レシーブ		実技	瀧本	
		4	ソフトバレーボール リーグ戦		実技	瀧本	
		5	ソフトバレーボール リーグ戦		実技	瀧本	
		6	ソフトバレーボール リーグ戦		実技	瀧本	
		7	バトミントン クリアー ヘアピン ドライブ		実技	瀧本	
		8	バトミントン ドロップ スマッシュ サーブ		実技	瀧本	
		9	バトミントン ダブルスゲーム		実技	瀧本	
		10	バトミントン ダブルス リーグ戦		実技	瀧本	
		11	バトミントン ダブルス リーグ戦		実技	瀧本	
		12	卓球 基本の打法		実技	瀧本	
		13	卓球 サーブ レシーブ ゲーム		実技	瀧本	
		14	卓球 シングルスゲーム		実技	瀧本	
		15	卓球 シングルス リーグ戦		実技	瀧本	
評価方法	受講への参加意欲と貢献度、受講毎に記録していただく受講記録の作成を総合評価させていただきます。						
履修上の注意	スポーツにふさわしい服装と体育館専用シューズの着用をお願い致します。長い髪はまとめて結び、接触により破損したり、人を傷つける可能性のある装飾品は遠慮願います。受講前の健康管理と受講後の手洗いとうがいなど、感染症対策にご協力ください。						
テキスト	適宜プリント配布予定						
参考図書							

授業科目	英語 I	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	小原 純子
						職種	
授業の目標・ねらい	1. 英語の聴解力を増強し、総合的なコミュニケーション能力を高める。 2. 看護の場面で使われる英語の語彙や表現を学び、看護に必要な英会話の基本を習得する。						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当		
		1	聞き返す表現	講義	小原		
		2	簡単な情報を得る表現	講義	小原		
		3	ていねいな質問の仕方	講義	小原		
		4	診療申込書記入の際の質問	講義	小原		
		5	適順のきき方と教え方	講義	小原		
		6	病院の案内図	講義	小原		
		7	症状・期間・回数 <small>のきき方</small>	講義	小原		
		8	症状と診療科	講義	小原		
		9	症状の進行具合 <small>のきき方</small>	講義	小原		
		10	病歴・アレルギー <small>の訪ね方</small>	講義	小原		
		11	病気の名前	講義	小原		
		12	薬の用法の説明に必要な表現	講義	小原		
		13	予約の表現	講義	小原		
		14	朝の病棟ラウンドの表現	講義	小原		
		15	試験			小原	
評価方法	主に筆記試験で評価する。						
履修上の注意							
テキスト	Speaking of Nursing (『看護系学生のための英語コミュニケーション』):南雲堂						
参考図書							

授業科目	英語Ⅱ	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	小原 純子
						職種	
授業の目標・ねらい	1. 英語の読解力を増強し英語能力を高める。 2. 英語の文化的背景を知り、異文化理解に役立てる。 3. 看護の場面で使われる英語の語彙や表現を学ぶ。						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題		方法	担当	
		1	問診の表現		講義	小原	
		2	診察にかかわる表現 ノロウイルス		講義	小原	
		3	インフルエンザの症状、処置法		講義	小原	
		4	痛みにかかわる表現、狂牛病		講義	小原	
		5	胃腸科に関する表現		講義	小原	
		6	腹痛を伴う病気の症状		講義	小原	
		7	History of Halloween		講義	小原	
		8	検査時の表現		講義	小原	
		9	健診結果を伝える表現		講義	小原	
		10	Writing Activity		講義	小原	
		11	作文、単語		講義	小原	
		12	服用にかかわる表現		講義	小原	
		13	手術の段取り		講義	小原	
		14	小テスト		講義	小原	
		15	試験 試験解説			小原	
評価方法	主に筆記試験で評価する。						
履修上の注意							
テキスト	Speaking of Nursing (『看護系学生のための英語コミュニケーション』):南雲堂						
参考図書							

授業科目	生命倫理学	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	本家 淳子
						職種	
授業の目標・ねらい	医療の現場において生じているさまざまな問題を取り扱うことを通じて、倫理的な問題に関する基本的な知識を身につけ、そうした問題について積極的に議論できる力を身につけることを目標とします。						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題		方法	担当	
		1	イントロダクション		講義	本家	
		2	インフォームド・コンセント①		講義	本家	
		3	インフォームド・コンセント② ディスカッション(宗教上の理由による輸血拒否)		講義	本家	
		4	インフォームド・コンセント③ーがんの告知ー		講義	本家	
		5	生殖医療①ー人工妊娠中絶ー		講義	本家	
		6	生殖医療② ディスカッション(出生前診断)		講義	本家	
		7	生殖医療③ー生殖補助医療ー		講義	本家	
		8	臨床研究の現在		講義	本家	
		9	終末期医療①ー安楽死ー		講義	本家	
		10	終末期医療② ディスカッション(治療の差し控え)		講義	本家	
		11	医療資源の配分①		講義	本家	
		12	医療資源の配分② ディスカッション(臓器移植)		講義	本家	
		13	遺伝医療		講義	本家	
		14	HIV/AIDS		講義	本家	
		15	試験			本家	
評価方法	筆記試験						
履修上の注意	積極的に質問・ディスカッションする姿勢をもって下さい。						
テキスト							
参考図書	赤林朗編、『入門・医療倫理I〔改訂版〕』, 勁草書房, 2017年.						

授業科目	家族社会学	単位	1単位	時間数	15時間	担当者	志田 倫子
						職種	
授業の目標・ねらい	1. 現代家族の構造と機能を理解する。 2. 現代家族のもつ問題について考えることができる。						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当		
		1	社会学とは	講義・演習	志田		
		2	家族をめぐる基本概念	講義・演習	志田		
		3	昔の家族	講義・演習	志田		
		4	近代家族①	講義・演習	志田		
		5	近代家族② 現代の家族①	講義・演習	志田		
		6	現代の家族② 男女共同参画社会	講義・演習	志田		
		7	家族と地域	講義・演習	志田		
		8	試験		志田		
評価方法	筆記試験						
履修上の注意							
テキスト	系看:基礎分野 社会学 (医学書院)						
参考図書							

授業科目	カウンセリング	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	村田 桂子
						職種	臨床心理士
授業の目標・ねらい	1. カウンセリングを学ぶ意義を理解する。 2. カウンセリングで用いられる態度・技法・を学び、患者との人間関係を成立させるために役立てる。 3. 看護活動の中でカウンセリングの技法を活用してみる。						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当		
		1	自己紹介、他者紹介、教科書の進め方、障害除去のアプローチ	講義・演習	村田		
		2	障害除去～内面のアプローチ	講義・演習	村田		
		3	内面問題への解決	講義・演習	村田		
		4	クライアントの話 事実・感情・計画	講義・演習	村田		
		5	フィードバック、感情の反射	講義・演習	村田		
		6	クライアントの話の背景	講義・演習	村田		
		7	クライアントの気持ち、準拠枠	講義・演習	村田		
		8	クライアントの質問	講義・演習	村田		
		9	カウンセラーの質問	講義・演習	村田		
		10	外側からの理解、内側からの理解	講義・演習	村田		
		11	クライアントとのかかわり	講義・演習	村田		
		12	言い換え	講義・演習	村田		
		13	沈黙の意味、対話分析	講義・演習	村田		
		14	より促進的な応答の仕方	講義・演習	村田		
		15	試験 「自分を知ること、他人を知ること」			村田	
評価方法	筆記試験						
履修上の注意							
テキスト	独習入門 カウンセリングワークブック(金子書房)						
参考図書							

授業科目	生活科学	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	増田 啓子
						職種	
授業の目標・ねらい	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標:1 豊かな日常生活の在り方・考え方を養うとともに、看護において患者やその家族に生活上のアドバイスのできる能力を養う。 授業の概要 生活組織としての家庭の在り方と家族の発達、ライフサイクルの変化と生活設計、共働き家庭を実現するワーク・ライフ・バランス、生活習慣としての食生活の重要性について実践を交えながら理解する。</p>						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題	方法	担当		
		1	ガイダンス・生活科学とは	講義	増田		
		2	変化するライフサイクル	講義	増田		
		3	家族と経済:ライフプラン	講義	増田		
		4	家族と経済:就業形態と生涯年収	講義	増田		
		5	少子高齢社会と家族・家庭の変化	講義	増田		
		6	生活習慣と学習の自立	講義	増田		
		7	男女が共同で働き子育てできる社会	講義	増田		
		8	家庭内の男女共同参画の意義	講義	増田		
		9	栄養の基礎	講義	増田		
		10	食生活と健康	講義	増田		
		11	コミュニケーションの意義	講義	増田		
		12	家族のコミュニケーション活動の実践	講義	増田		
		13	家族を支える法	講義	増田		
		14	子育て支援サービスの現状と課題	講義	増田		
	15	講義のまとめ:小テストにより講義の総括をし、生活科学の意義を再確認する	講義	増田			
評価方法	レポート(50%)、小テスト(50%)で評価する。						
履修上の注意							
テキスト	家庭生活の支援 ー理論と実践ー:日本家政学会家政教育部会編、建帛社						
参考図書							

授業科目	国際社会学	単位	1単位	時間数	30時間	担当者	洪 性旭
						職種	
授業の目標・ねらい	1. 社会学の基礎知識を学び、人間の社会的行為、社会集団、家族、現代社会の成り立ちと諸問題等を理解し、社会に対する自覚を深める 2. 国際社会学という分野と、いくつかの主なテーマについて学ぶ 3. 健康・病気と社会とがどのように関わっているかについて学ぶ						
授業内容および方法	単元のまとめ	回	主題		方法	担当	
		1	1. オリエンテーション 本授業の目標と進め方、「社会」と「社会学」とは何か等		講義	洪	
		2	2. 社会学とは何か(1) 社会学の基礎概念といくつかの理論モデル		講義	洪	
		3	3. 社会学とは何か(2) 「社会的水準」の理解、社会システム論・社会ネットワーク分析など		講義	洪	
		4	4. 社会調査の方法 社会調査の目的と種類、社会調査の読み方・作り方		講義	洪	
		5	5. 健康・病気の社会格差 社会階層と社会格差、格差と健康の関係など		講義	洪	
		6	6. 健康・病気行動 健康・病気行動論と病経験、病の語りなど		講義	洪	
		7	7. ケアと医療 近代社会におけるケアの意味とその変化		講義	洪	
		8	8. 国際社会学の基礎 国際社会学の問題と基礎概念		講義	洪	
		9	9. 国際人口移動の加速化と多様化(1) 国際的な人口移動に関する基礎概念		講義	洪	
		10	10. 国際人口移動の加速化と多様化(2) 日本の難民受け入れについてなど		講義	洪	
		11	11. 多文化社会への発展と反動(1) 社会統合、多文化主義、社会的結合など		講義	洪	
		12	12. 多文化社会への発展と反動(2) 移民と教育・政治、ナショナリズムとネーションなど		講義	洪	
		13	13. 国境を超える集団と精度 国際社会と人の移動など		講義	洪	
		14	14. グローバル社会の諸相 国内外の社会と移民など		講義	洪	
		15	試験			洪	
評価方法	授業への参加度(40%)＋筆記試験(60%)						
履修上の注意	授業中に数回、グループディスカッションや小テストを行います。積極的に参加すること。						
テキスト	系看:基礎分野 社会学(医学書院) よくわかる国際社会学(ミネルヴァ書房)						
参考図書	随時、参考資料を授業中に配布します。						